

平成24年8月28日

タブレット型情報端末機器を活用した被災建築物応急危険度判定 実地訓練の実施

被災建築物応急危険度判定は、大規模地震が発生した際に余震による建物の倒壊等による二次災害を防止するために行われるもので、阪神・淡路大震災以降様々な地震災害で実施されました。昨年3月の東日本大震災では、発災から約80日間に渡り、延べ8,541人の判定士による95,381箇所の建物判定が行われましたが、従来より迅速で効率的な判定活動が求められていました。

そうした中、独立行政法人建築研究所は国際航業（株）と協力して、タブレット型情報端末機器（iPad等）による応急危険度判定支援ツールを開発し、インターネット等を通じてその試用版を公開（無償配布）する予定です。また、全国被災建築物応急危険度判定協議会と協力して、ツールの機能追加や改善等に取り組んでいく予定です。

応急危険度判定支援ツール（試用版）の公開に先立ち、9月1日の「防災の日」にあわせた防災訓練として、静岡県藤枝市と磐田市において本支援ツールを使った判定実地訓練が試行的に実施される予定であり、建築研究所もこれに協力します。本支援ツールを使った判定実地訓練は、全国的にも初の試みです。

○ 藤枝市会場の概要

- ◆日時：平成24年9月1日（土）9：00～11：00
- ◆場所：藤枝市高岡2丁目4-25 市営住宅兵太夫3号団地内
- ◆判定住宅：昭和30年建設 木造住宅平屋建 2棟
- ◆判定者：地区の建築士50名ほど（うちiPad活用は4チーム8名）

○ 磐田市会場の概要

- ◆日時：平成24年9月2日（日）8：30～10：30
- ◆場所：磐田市立磐田第一中学校
（8：30に磐田市市役所西庁舎3階301～303会議室へ集合）
- ◆判定建物：校舎（RC造）、柔剣道場（S造）
- ◆判定者：地区の建築士50名ほど（うちiPad活用は4チーム8名）

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 住宅・都市研究グループ
氏名 石井儀光
電話 029-864-6696（直通）
E-mail ishii@kenken.go.jp